

GKP下水道を未来につなげる会 in大阪市立大学 (2019年7月22日)

GKP下水道を未来につなげる会 (GKP未来会) は、令和元年7月22日に大阪市立大学工学研究科にて出前講座を行いました。貫上佳則教授にご依頼頂き、今回初めての開催となりました。

大学院1回生16名が参加し、下水道事業の水の循環、汚泥の循環の取り組みによってもたらされる地域貢献についてグループワークを行い、学生どうしで活発な議論が行われていました。

[実施概要]

講座名: 特別演習(都市リサイクル工学I)内での下水道事業の紹介

日時: 2019年7月22日(月) 15時15分~18時50分(210分(休憩除く))

場所: 大阪市立大学 杉本キャンパス 工学部G棟 201教室

対象: 大阪市立大学大学院1回生 16名

実施内容: GKP未来会の紹介、下水道の役割・職種の紹介

グループワーク(前半): 水の循環・汚泥の循環の地域貢献について

グループワーク(後半): 前半のフィードバック、ブラッシュアップ、発表

リレートーク(社会人とのフリートーク)、まとめ

参加団体: 滋賀県、大阪市、京都市、堺市、クリアウォーターOSAKA、メタウォーター、

ヴェオリア・ジェネッツ、西原環境、東亜グラウト工業、水ingエンジニアリング、

神鋼環境ソリューション、日水コン、日本水工設計、極東技工コンサルタント、日本水道新聞社



▲GKP未来会の紹介



▲グループワークに熱が入る!



▲グループ発表



▲下水道事業の取組事例紹介



▲社会人とのフリートーク

(貫上教授の講評)

学部生時代の講義のよい復習になった。最初はグループワークがどのような形になるか不安もあったが、学生から活発に意見が出て非常に有意義なものだった。フィードバックを受けた後半の発表が前半の発表に比べ格段に良いものになっていたことに驚いた。